

最禪地区内の地層

笹川河床に見られるポットホール（甌穴）



最禪地区内の笹川には、川底に地層が露出しています。河床には、上の写真のように水の流れてできたポットホール（甌穴）が見られます。川底の岩石に割れ目や節理という割れがあると、川の流れによって軟らかい部分がけずられてくぼみができます。このくぼみに小石が入り込むと、渦によって小石がくぼみの中を転がって円形の穴に成長します。この写真に見られる物のごく初期のもので、この後どんどん削られると、下の写真のように大きな円筒形の穴になることもあります。

地区内で多く見られる角礫凝灰岩

地区内には、火山碎屑物（火山灰や火山弾など火山から噴出した物）が堆積した後に圧縮を受けてできた、角礫凝灰岩が多数見られます。この岩石は、このあたりで激しい海底火山活動があったことを示すもので、小学校の「火山の活動」でも教材として使えるのではないのでしょうか。

凝灰岩は一般に柔らかいため、川で流される途中でばらばらになってしまうことも多いのですが、笹川は流路が短く流れも急なため、大きな岩塊として残っています。

